

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／債券
信託期間	2017年1月13日まで（2014年1月7日設定）
運用方針	ブラジルリアル建ての国債、政府機関債、国際機関債を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざします。投資に当たっては、ファンドの信託期間と残存年数が近い銘柄を保有します。基準価額（1万口当たり。以下本項において同じ。）が12,000円以上となった場合には、短期資産マザーファンド受益証券への投資等を通じて、主としてわが国の短期公社債等による安定運用に切り替えた後、速やかに信託を終了させます。ただし、基準価額が12,000円以上となってから信託を終了させるまでの市況動向や売却コスト等により、基準価額もしくは償還価額が12,000円以下となることがあります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ブラジルリアル建ての公社債を主要投資対象とします。また、基準価額の動向によっては、短期資産マザーファンド受益証券に投資することがあります。
主な組入制限	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
分配方針	元本超過額または経費等控除後の配当等収益のいずれか多い額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向、運用状況等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# 繰上償還条項付 ブラジルリアル債券ファンド 2014-01

愛称：プチアソート3（ブラジルリアルコース）

第1期（決算日：2015年1月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「繰上償還条項付 ブラジルリアル債券ファンド2014-01（愛称：プチアソート3（ブラジルリアルコース）」は、去る1月15日に第1期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 URL: <http://www.am.mufig.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

営業企画推進部	TEL. 0120-151034
お客様専用フリーダイヤル	(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。	

## ◆目次

### ◀ 繰上償還条項付 ブラジルリアル債券ファンド2014-01のご報告 ▶

◇設定以来の運用実績	1
◇当期中の基準価額等の推移	1
◇運用経過	2
◇今後の運用方針	5
◇1万口当たりの費用明細	6
◇売買及び取引の状況	6
◇利害関係人との取引状況等	7
◇組入資産の明細	7
◇投資信託財産の構成	8
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	8
◇損益の状況	8
◇分配金のお知らせ	9
◇お知らせ	9

**本資料の表記にあたって**

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

**○設定以来の運用実績**

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			騰落率	受利益者	債組入比率	債券先物比率	元残存本率
		税金配	み入金	期中騰落					
(設定日) 2014年1月7日	円 10,000		円 —	円 —	% —	% —	% —	% —	% 100.0
1期(2015年1月15日)	11,203		10	1,213	12.1	11.8	96.0	—	45.9

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注) 受益者利回りは元本1万円に対して計算しております。

(注) 当ファンドは、ブラジルリアル建てのソブリン債券を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

**○当期中の基準価額等の推移**

年月日	基準価額	基準価額		騰落率	債組入比率	債券先物比率	債券先物比率
		騰	落				
(設定日) 2014年1月7日	円 10,000			% —	% —	% —	% —
1月末	9,590			△ 4.1	99.0	—	—
2月末	10,165			1.7	99.1	—	—
3月末	10,518			5.2	98.6	—	—
4月末	10,707			7.1	95.4	—	—
5月末	10,862			8.6	95.2	—	—
6月末	11,104			11.0	96.4	—	—
7月末	11,096			11.0	95.1	—	—
8月末	11,335			13.4	91.3	—	—
9月末	10,844			8.4	95.5	—	—
10月末	11,144			11.4	95.8	—	—
11月末	11,561			15.6	96.4	—	—
12月末	10,971			9.7	93.4	—	—
(期末) 2015年1月15日	11,213			12.1	96.0	—	—

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

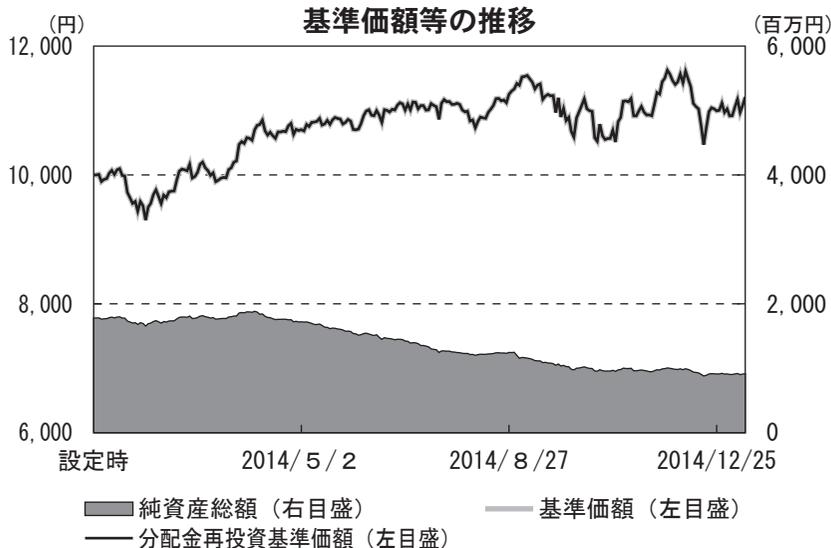
## 運用経過

### 当期中の基準価額等の推移について

(第1期：2014/1/7～2015/1/15)

#### 基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ12.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



- ・ 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- ・ 単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

### 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

債券利子収益を享受したことに加え、ブラジルリアルが対円で上昇したことなどから基準価額は上昇しました。

## 投資環境について

(第1期：2014/1/7～2015/1/15)

### 金利の推移

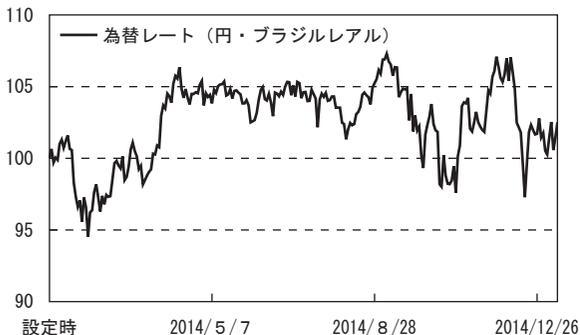


(注) 現地日付ベースで記載しております。

### ◎債券市況

- ・ 設定時～2014年9月上旬では、米国金利の低下を背景として投資家の高利回り債を選好する動きが見られるなか、ブラジルの債券利回りは低下（債券価格は上昇）基調で推移しました。
- ・ 9月上旬～期末では、資源価格下落などを背景として世界経済の先行きに対する懸念が強まるなか、新興国全般で利回りが上昇する展開となり、ブラジルの債券利回りも上昇基調で推移しました。

### 為替市況の推移 (期首を100として指数化)



### ◎為替市況

- ・ ブラジル経済の先行き不透明感や日銀による「量的・質的金融緩和」の拡大などの影響を受けるなか、ブラジルリアルは対円でもみ合う展開となり、期を通じてみると上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・当ファンドは、ブラジルリアル建ての国債、政府機関債、国際機関債を主要投資対象としています。
- ・当期は、ブラジルリアル建てのブラジル国債および政府機関債で90%以上の組入比率を維持しました。
- ・ブラジルリアル建てのソブリン債券の投資に当たっては、ファンドの信託期間と残存年数が近い銘柄を継続的に保有しました。  
投資行動の結果、債券利子収益を享受したことに加え、ブラジルリアルが対円で上昇したことなどから基準価額は上昇しました。

### (ご参考)

#### 利回り・デュレーション表（平均回収期間や金利感応度）

期末（2015年1月15日）

最終利回り	11.8%
デュレーション	1.6年
平均残存年数	2.0年

- ・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮しておりません）。
- ・最終利回りは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・平均残存年数は、各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・ブラジルリアル建てのソブリン債券を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配金】

決算期	1万口当たりの分配金（税込み）
第1期	10円

## 今後の運用方針

### ■ 運用環境の見通し

- ・新興国の経済成長ペースは鈍化してきているものの、堅調な内需を中心に概ね底堅い景気拡大を維持するものとみています。ブラジルにおいても、様々な改革案を掲げる第2次ルセフ政権発足などにより、概ね景気は底堅く推移するものとみています。
- ・また、先進各国中央銀行による金融緩和政策の継続などを背景に世界的に金利が低水準で推移するなか、主要先進国との金利差を狙った資金流入が今後も見込めることなどから、金利面で優位性のあるブラジルは資金を引き付けやすい国のひとつと考えます。
- ・ただし、他の新興国通貨と同様に、中国の景気減速懸念やウクライナ情勢の緊迫化などの外部要因の影響を受け、投資家のリスク回避姿勢の高まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

### ■ 今後の運用方針

- ・ブラジルリアル建てのソブリン債券を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざします。
- ・ブラジルリアル建てのソブリン債券の投資に当たっては、ファンドの信託期間と残存年数が近い銘柄を保有します。
- ・今後も、市場動向を注視しつつ、慎重に投資を行っていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2014年1月7日～2015年1月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 126	% 1.162	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 60 )	( 0.552 )	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	( 60 )	( 0.554 )	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 6 )	( 0.055 )	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	25	0.232	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 24 )	( 0.226 )	外国での資産の保管等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	( 0.004 )	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	( 0.002 )	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	151	1.394	
期中の平均基準価額は、10,824円です。			

(注) 各期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年1月7日～2015年1月15日)

公社債

		買 付 額	売 付 額	
外 国	ブラジル	千ブラジルリアル		
		国債証券	39,183	22,764
		特殊債券	1,973	—

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

○利害関係人との取引状況等

(2014年1月7日～2015年1月15日)

利害関係人との取引状況

<繰上償還条項付 ブラジルリアル債券ファンド2014-01>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 1,771	百万円 —	% —	百万円 1,070	百万円 4	% 0.4

<短期資産マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 1,160	百万円 379	% 32.7	百万円 —	百万円 —	% —

平均保有割合 —%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。  
(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2015年1月15日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジルリアル 20,250	千ブラジルリアル 19,563	千円 879,983	% 96.0	% —	% —	% —	% 96.0
合 計	20,250	19,563	879,983	96.0	—	—	—	96.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当期末				
		利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル		%	千ブラジルリアル	千ブラジルリアル	千円	
	国債証券 10(IN)BRAZIL NTN-F170101	10.0	18,250	17,589	791,196	2017/1/1
	特殊債券 9.5 KFW(GL) 161215	9.5	2,000	1,973	88,786	2016/12/15
小	計				879,983	
合	計				879,983	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2015年1月15日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 879,983	% 94.8
コール・ローン等、その他	48,123	5.2
投資信託財産総額	928,106	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(911,470千円)の投資信託財産総額(928,106千円)に対する比率は98.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ブラジルリアル=44.98円	1 ユーロ=138.63円
------------------	---------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年1月15日現在)

○損益の状況 (2014年1月7日~2015年1月15日)

項目	当期末
(A) 資産	928,106,211円
コール・ローン等	38,743,754
公社債(評価額)	879,983,794
未収入金	8,652,806
未収利息	725,857
(B) 負債	11,812,192
未払収益分配金	817,929
未払解約金	5,491,083
未払信託報酬	5,481,245
その他未払費用	21,935
(C) 純資産総額(A-B)	916,294,019
元本	817,929,621
次期繰越損益金	98,364,398
(D) 受益権総口数	817,929,621口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,203円

項目	当期
(A) 配当等収益	107,762,850
受取利息	107,762,850
(B) 有価証券売買損益	90,648,773
売買益	91,981,459
売買損	△ 1,332,686
(C) 有価証券評価差損益	12,189,678
(D) 信託報酬等	△ 19,073,198
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	191,528,103
(F) 解約差損益金	△ 92,345,776
(G) 計(E+F)	99,182,327
(H) 収益分配金	△ 817,929
次期繰越損益金(G+H)	98,364,398

〈注記事項〉

- ① 設定年月日 2014年1月7日  
 設定元本額 1,780,812,201円  
 期首元本額 1,780,812,201円  
 元本残存率 45.9%

- ② 第1期分配金の計算過程：計算期間末における元本超過額99,182,327円と費用控除後の配当等収益88,689,652円のうち、多い金額99,182,327円を分配対象金額として817,929円(1万口当たり10円)を分配金額としております。

(注) (D) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)		10円00銭0厘
源泉税	所得税	1円53銭1厘
	地方税	0円50銭0厘
源泉税合計		2円03銭1厘
お手持り額		7円96銭9厘
非課税制度をご利用になる方のお手持り額		10円00銭0厘

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%) の税率で源泉徴収 (申告不要) されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

\*三菱UFJ投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## [ お 知 ら せ ]

①書面決議を行う場合の受益者数要件の撤廃を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

②併合手続要件の緩和を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

③買取請求の一部適用除外を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

④運用報告書の二段階化について信託約款に記載し、所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

⑤新たに発行可能となる新投資口予約権を投資の対象とする有価証券に追加し信託約款に所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

⑥デリバティブ取引等のリスク量計算を規格化し、定量的に規制する旨を信託約款に記載し、所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

⑦2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。